

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

現在、当院薬剤部で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

ノボラピット 30mix 注フレックスペンからライゾデグ配合注フレックスタッチへ切り替え時の投与量調査

2. 対象となる方

2015年12月1日～2017年3月31日に当院にて糖尿病でインスリン治療を受けられた患者さんのうち、ノボラピット 30 ミックス注フレックスペン（1日2回投与）からライゾデグ配合注フレックスタッチ（1日2回投与）への切り替えが行われた患者さん

3. 研究の目的

当院ではノボラピット 30mix 注フレックスペン（以下、BIAsp 30）からライゾデグ配合注フレックスタッチ（以下、IDegAsp）へ切り替わる症例があります。各1日2回投与での切り替えの際、1日総インスリン投与量についてIDegAsp 添付文書では同用量、IDegAsp 投与ガイドでは10～20%減量した用量での切り替えが推奨されており、切り替え時に苦慮することがあります。そこで今回、当院にて各1日2回投与でBIAsp 30からIDegAspへ切り替えが行われた患者さんでの切り替え時の1日総インスリン投与量やその後の用量調節状況について調査することとしました。

4. 研究期間

2017年9月（倫理審査委員会承認後）～2017年9月30日（予定）

5. 研究に使用する情報の種類

性別、既往歴、低血糖の有無、HbA1c、インスリンの投与量、内服している経口糖尿病治療薬等

6. 研究組織

当院のみでの研究になります。

7. 研究責任者

広島市立広島市民病院薬剤部 薬剤師 繁田 瞳

8. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

この研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにしたうえで使用します。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院薬剤部 薬剤師 繁田 瞳